

センシング技術応用セミナー 2025



関西のセンシング技術の最前線

日時：2025年6月6日(金) 10:00~16:35

場所：大阪産業創造館 6階 会議室E

所在地

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目4-5

URL : <https://www.sansokan.jp/map/>

アクセス

大阪地下鉄「堺筋本町」下車徒歩10分

主催：センシング技術応用研究会

後援：(地独)大阪産業技術研究所



オンラインでのご参加も可能です。

参加のおすすめ

大阪での万国博覧会で関西に注目が集まっている今、万博開催で本セミナーでは関西におけるセンシング技術の最前線の一部を集めてみました。物理センサ関係2件、化学・バイオセンサ関係2件、センサシステム系2件を、研究開発から社会実装に向けての取り組みまで、各分野の専門の先生方に広範囲にわたって御講演いただきます。AI関連センサや関西万博でのセンサ応用、ヘルスケア関連から人工衛星への新規センサ開発・適用、SDGsのための人工光合成と今話題の内容までありますので、万博見学後皆様のご参加をお待ちしています。

参加費 (テキスト代、消費税込み)

主催・協賛団体会員：8,000円、 一般：10,000円、 学生：3,000円

協賛団体 (予定) : (一社) 電気学会, (一社) システム制御情報学会, (一社) 次世代センサ協議会, (一社) 日本機械学会, ニューセラミックス懇話会, (公社) 応用物理学会, (一社) KEC関西電子工業振興センター, (一財) 大阪科学技術センター, (公社) 日本表面真空学会 他11学協会
※協賛団体の詳細につきましては、センシング技術応用研究会事務局にお問い合わせ下さい。

申込方法

下記URLからお申込みください。右記QRコードからもお申込み可能です。

※下記 (Googleフォーム) から申込みが出来ない場合や、受付メールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。



<https://forms.gle/7Ny4zK9UMB8hTE1Z6>

■定員(先着順) : 60名 (現地会場) ・ 80名(オンライン) ■申し込み締め切り : 5月30日(金)

【開会挨拶】 センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏

(10:00~10:05)

【講演】

1. 「生化学的検査を革新するAIナノポア」

(10:05~10:55)

大阪大学 産業科学研究所 教授 谷口 正輝 氏
ナノポアのサイズと学習データを変えるだけで、抗原、ウイルス、細菌を1個単位で、高精度・高スループットに検出する生化学的検査法を作ることができるAIナノポアプラットフォームについて紹介します。

2. 「AIスマート空調におけるセンシング・AI・制御の先端事例」

(11:00~11:50)

神戸大学 先端スマート技術研究開発センター センター長 (特命教授) 長廣 剛 氏
来場者の時空間分布や売場毎の最適な室温が想定し難い百貨店等の不特定多数が利用する施設におけるセンシングを用いた空調負荷同定法と制御手法について、全国的に導入が進むAIスマート空調技術の紹介を交えて講演します。

--- 昼休み ---

(11:50~12:50)

3. 「新たな時代の万博をつくる - 大阪・関西万博の挑戦 -」

(12:50~13:40)

大阪・関西万博 会場運営プロデューサー (株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役 石川 勝 氏
万博の170年の歴史から現代の万博の意義を描き出し、大阪・関西万博の開催意義を高めるためにプロデューサーとして力を注いできた、テクノロジーの活用や社会課題の解決に向けた取り組みなどを紹介します。より深い理解のため、事前に万博体験いただくことお勧めします。

4. 「カーボンリサイクルのための人工光合成技術」 ※オンライン講演

(13:45~14:35)

大阪公立大学 人工光合成研究センター 教授・センター所長 天尾 豊 氏
太陽光エネルギーを利用して水と二酸化炭素を原料として燃料や有機物質を作り出す人工光合成技術はカーボンニュートラルやカーボンリサイクル達成に向けた技術として期待されています。この講演ではカーボンリサイクルのための人工光合成技術の概要と、社会実装への可能性について紹介します。

--- 休憩 ---

(14:35~14:50)

5. 「医療・ヘルスケアにむけたフレキシブルエレクトロニクス技術の研究開発」

(14:50~15:40)

大阪大学 産業科学研究所 准教授 荒木 徹平 氏
最近、次世代医療・ヘルスケアの観点で、省人化に資するウェアラブルデバイスの開発が増えています。特に、柔軟性に優れるフレキシブルエレクトロニクスの活用により、生体にしっかり貼りついた状態で、生体を傷つけることなく、生体信号計測を行う遠隔モニタリング技術が構築できます。講演では、それらにまつわる最新の研究開発動向にふれます。

6. 「シリコンフォトリック結晶を用いた空間電荷検知技術と人工衛星応用」

(15:45~16:35)

大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授 高橋 和 氏
シリコンフォトリック結晶は高いQ値を持つ小型共振器や低損失光導波路を提供します。本講演では、我々が開発を進めている空間電荷センサの原理を紹介し、人工衛星の電位測定応用を目指して行った地上試験の結果について解説します。

お問い合わせ先：センシング技術応用研究会 事務局

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内
TEL ,FAX : 0725-53-3155 E-mail : [sstj@sensing-tech.org](mailto:ssstj@sensing-tech.org)
URL : <https://sensing-tech.org/>